

地震EXPO サバイバルキャンプ実施報告書

2008.3

地震EXPO サバイバルキャンプ

■実施概要

開催日	2007年5月5日(土)～5月6日(日)
場所	BankART 1929 Yokohama(横浜市中区本町6-50-1)、BankART Studio NYK(横浜市中区海岸通3-9)
参加費	1人1,000円
入場者数	270人
主催	「地震EXPO」実行委員会
共催	BankART 1929
助成	日本財団
総合プロデュース	plus-arts 法人プラス・アーツ
企画協力	BankART 1929
ホームページ	公式サイト http://www.plus-arts.net/jishinexpo/ CANPANブログ http://blog.canpan.info/plus-arts/daily/200705/05/

内容	参加者自身が被災状況の想定から主体的に考え、持ち物、食事づくり、寝床づくりを創意工夫し、避難所での行動を疑似体験した1泊2日の被災体験キャンプ
参加者	91名(関係者含む) 上限を一般:80人、関係者:70人で設定。

■被災体験サバイバルキャンプのスケジュール

5日	13:00 受付 13:30 オリエンテーション(キャンプの流れ・ルールを説明) 14:00 展覧会会場見学(展示内容解説+寝床の場所下見、確認) 15:00 ワークショップ ・シェルターワークショップ・寝床づくり・救命法講習 ・救助犬デモンストレーション・食事準備等 18:00 オリエンテーション(夜から翌朝までの流れを説明)と配給 19:15 会場のライフライン停止(電気、水道、ガス) ・炊き出し ・足湯、簡易風呂づくり
6日	7:00 朝礼、防災体操 7:30 配給 8:00 会場片付け 8:30 大人、子どもで分かれてディスカッション 10:00 解散

地震EXPO サバイバルキャンプ



受付



展示シェルターの見学



地震EXPOの展示を見学して被災状況化における知恵や技を学ぶ

展示シェルターを参考にしたシェルターづくり



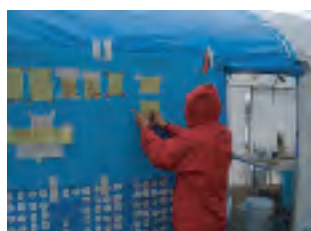
参加者の自発的プログラム「足湯体験」参加者の自発的プログラム「自転車濾過機」



配給



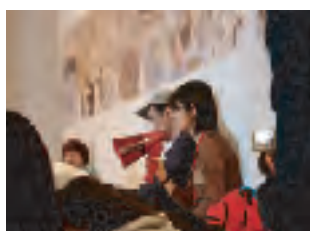
炊き出し



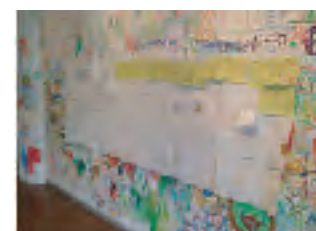
参加者自身が情報を発信した掲示板



翌朝体験後のミーティング



活発な意見交換が行われた



参加者の意見・感想を展示

サバイバルキャンプ感想集（大人）

1	・バケツ、水の確保 ・壁と床(天井はいらない) ・たいくつなもの～何もしない～何もない ・避難所生活は退屈なものと感じる
2	夜の炊き出し(鍋作り)が楽しかったです。楽しいところからいろんなモノゴトが生まれてくると思います。電気がないのは案外大丈夫でしたが、水が止まる、トイレが止まるのは大変なことだった。
3	何もプログラムされていない”サバイバルキャンプ” それぞれが感じたことが次のサバイバルキャンプのテーマやプログラムとなり、回を重ねていく度に地震は怖いものではない、人間は昔何もない状態から今に至る、ということが分かればよいと思います。
4	また参加します。
5	船の照明が点いていてライフラインを止めるということができていなかったのでは？ 酒を飲んでいる人がいたのが残念だった。これだとサバイバルキャンプというよりもただのキャンプだと感じてしまった。 被災した時に何が必要なのか身をもって知ることができた。 クレヨンしんちゃん以外にもプログラムがあったほうがよいと思いました。
6	人と人のコミュニケーションは何をやるにしても大切です。そのためには心を開いて協力していくこと。
7	自分にとってキャンプは人生で初めてだったため、楽しかった。今回のイベントは、問題点があるようだが、非日常生活を送るという点で避難所生活はこういうものかというイメージがつかめた。大きな経験になった。
8	思想力と創造力をテーマにしたシェルターの作品は、どれも力作ばかりですばらしかった。誰も思いつかないようなアイデア絶賛！！
9	防災訓練では、どう逃げるかや防災用品を備えることしかやらない。細かい知識・サバイバル力・ものづくり力、何を使ってつくるか、そこから最低限必要なものを防災用品にプラスする。
10	元気さも違うし、寝る時間も違うので「場」を分けて、世代ごとの横のつながりからコミュニケーションをとるように考えた方がよいと思う。 というのは、やはり縦(違う世代)の人とコミュニケーションをとりづらいからで、同世代のグループの誰かが目上の人や年下の子と仲が良ければ、そこから大きなグループができていくのではないと思う。
11	実際にサバイバルキャンプを経て、自分の寝ているときの周りの音が気になって気になってしょうがなかった。自分達の作ったシェルターは結構防音性があったがそれでも少しの音でも聞こえてしまう。避難所自体で音に対する区切も必要だと思った。
12	・より心を広く保つこと ・嫌なことばかりではなく楽しさを見つけていくこと
13	子どもたちのボランティア精神を再確認しました。妻のDNAですね。私はチョット苦手なのでホッとしました。

14	避難所に必要なのは時計とライト！と思いました。
15	防災船で寝ました！（ハンモックで寝ました。） 1.最初は快適でした。が...（B地点で寝た） 2. AM2:00頃近くにいた人の会話が気になって寝られないため、つい「静かにしてください！」と言ってしまいました。 3. 明け方だんだん寒くなって子どもがハンモックからおりてきて抱き合って寝ました。 ～風呂にはいりたかった
16	次回地域との連携をテーマに ・この存在を地域の人は知っているのだろうか。 ・防災について日常考えるには何か魅力が必要 実際の避難生活を想定して気がついたこと ・女性のための居住空間が必要 就寝時間を設定する。もしくは夜会話していい場所を確保する。
17	避難所で、被災者自らが動いて自分のプライベートな空間を確保していくことを実際に体験できた事は今後に生かしていけることだと思います。 避難所で生活していくにあたり、いかに静かにするか、音を出さないようにするか等おさえて生活するのではなく、各々おもしろいぶちまけられるような息抜きの空間が必要だと思いました。
18	深夜まで「防災とアート」について、じっくり話し合うことができたのがよかった。そこで出た話としては、、防災なのかアートなのかどちらにバランスするのか？もっと地震を楽しむ、創造力で乗り越える、コミュニケーションを考える、というテーマが前面に出してもよかったのではないかな？ 地震EXPOでしか体験できないこと、試みが欲しかったなあ。それから、地元横浜市民があまり巻き込めなかったのが残念で力不足を感じた。
19	寝床は固いと寝にくいぞ～！
20	これだけの規模でいろいろと工夫された地震EXPOとサバイバルキャンプに参加できて良かったです。避難所の組織運営が課題だと思います。新聞などで地震EXPOの開催について報道されていましたが、もう少し周知徹底されていたら良かったです。
21	防災について改めて学ばなくてもある程度は分かるのでは？と思っていましたが大間違いでした。これから正しい知識を身に付けて、備えていきたいと思います。今回はありがとうございました。
22	硬い床で寝ることは何度も目覚め、健康をこわすことを実感しました。 身近なものを利用した救急法が、参考になりました。 ビニールを使ったシェルター等、人が動く度に音がし、夜は眠りの妨げになる。 スタッフの方ありがとうございました。
23	「楽」
24	テントで寝る→「寒い・痛い」←クリエイティブ力で乗り切る！「アート＝つくる」を学びました。ありがとうございます！
25	夕方に災害が起きた時、救援物資が届く前に簡単な服が作れるようにしておきたい。
26	実際に避難する際に必要であると思われる物がわかりました。また、ふだんゴミとしてすぐに捨てていた物（スーパーの袋や空き缶、カップラーメンの容器等）がとても貴重な物として感じられました。また生きるために必要な知恵がたくさん見られ参考になりました。 自分の防災に対する意識が低いことを痛感させられました。今回の体験を通じて、たくさんの方のことを考えることができました。この経験を身近な人から少しずつ伝えていきたいと思います。ありがとうございました。

27	簡単なもので簡単に家を作れることが分かり、とても勉強になりました。水を沸かすために必要な道具、顔を洗うための水を確保する道具などがなく、普段簡単にできることが震災ではあっという間にできなくなりました。ワークショップで、水のため方、トイレの作り方など、震災時に役立つスキルをもう少し教えてもらいたいです。いい体験になりました。ありがとうございました。
28	自治体に参加していないような独身世帯のコミュニティへの参加方法なども考えたいと思った。温暖化防止のための対策を調べていて思ったことに日本はコミュニティでの対策が遅れている。地域での発電などは災害時にも効果があるので長期・短期両面からの「サバイバル」対策をコミュニティで考えたい。
29	災害時におけるプライバシーのあり方を考えなくてはならない。最低限のプライバシーとしては、どこまでなのか？災害後すぐ、すこしたってから、など時期によって変わってくると思うので、考える必要があると思う。それと同時に、自分の情報公開も必要。単なる自己紹介だけでなく、どんな仕事をしていて、災害時どんな「コト」を提供できるか発信できたらいいと思う。
30	防災訓練 226世帯の入っている大型マンションの管理組合の理事をしています。大人数のため、なかなか訓練ができないでいる状態ですので、今回の経験を持ち帰って、ぜひ「楽しみながらいつの間にか訓練になっている」防災訓練を考えて実現させたいと思います。いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。
31	もっとクリエイティブなしかけを考えたい
32	寝床持参で参加しましたが、やはり家族分はそろえたほうがよいですね。床のマットを忘れたらとても寝にくかったので、対策が必要。この経験を通して普段の生活のありがたさをとても感じました。大きなフロアは思った以上に音が響く事、寝ている所から離れてお話をすること、トイレのにおいが気になるので、寝るフロアから離す事が必要と感じました。ありがとうございました。
33	キャンプ親子で楽しめました！貴重な機会をありがとうございました。いろいろ考えさせられましたが、大人のコミュニケーションをとりやすくする」のが一番大事だと改めて感じました。名札、自己紹介、共同作業、etc
34	今回は、シビアなポイントを押えつつももっと遊び心も大切な様な気がしました。ハンディキャップの有る方々も仲間に入れるイベントもしてほしいです。
35	(指定の)避難所だけでなく隣近所単位の助け合いのヒントを得ました。ご飯の簡単な炊き方、応急救助の仕方等、ゴミ等のシェルターは見たときは明るいし、暖かいかなと思ったが使用時の騒音は使用不可。
36	災害時は手当てを受けられない→しんちゃんの時間に救急法 被災時こそ「ゆるさ」が必要。道具と使わないと意味が無い→今回の主旨は？到達点は？
37	・寒い！ ・寝床は、やわらかくないとストレスがたまるよ！ ・避難所にベットは入れないかもしれないよ！ ・季節によって防寒対策・防暑対策が必要！ ・廃材をできるだけ早く確保すること！
38	皆さん気をつけましょう！！ 自分がなにげなく出している音(例えばビニール袋・シート・足音等)時間帯での他人への気配り イビキ対策→超迷惑です。

サバイバルキャンプ感想集（子ども）

1	(ビルにすんでるから)ベット作りとか、缶詰を焼いたりしたのが貴重な体験ができたなと思った。 船で寝るなんて、これで2回目でした。
2	クラゲつりがたのしかった。
3	クラゲをつることが楽しかった。次にはみんなで遊べる遊び道具を持ってくる。
4	災害がおきると、暗くて狭いところで、知らない人たちと共同生活をするし、ライフラインがていしするから、多少不便なところはあったけれど、実際の災害時になにをもちだせば良いかなどがわかって良かったです。
5	ふろにはいったのがたのしかったです。つりをしたのがよかったです。
6	[感想] いつも家ですごしている生活とはちがって、不便だし大変だったけど、意外と楽しかったこともいろいろありました。 [楽しかったこと] ・クレヨンしんちゃんの映画を見たこと ・船の中でハンモックにゆられて遊んだこと [悪かったこと] ・トイレでいちいち水を自分で流さなきゃいけなかった ・外に出る時、電気がついてなくて暗かった
7	[楽しかったこと] 家作り。とてもたいへんだったけど楽しかったです。 [イヤだったこと] 電気もとまったし水もながれないからイヤでした。いちいちライトももっていかないとくらくてみえない
8	夜がすごく暗いから、外で遊んでいた。クレヨンしんちゃんがおもしろい。おフロに囲いしてくれたら入ったかも。クラゲがカワイイ。海に白いクラゲが10ぴき以上いた。雨がふっていていやだった。食べ物はずりた。ねどこは、てん上にたけをくろすさせて、シーツをかけたブランケットでかこった。タンカにのるのが楽しい。(うくかんじが)
9	[よかったこと] つりがたのしかった [わるかったこと] ちょっとさむかった ここにいくまえははずかしかった
10	サバイバルキャンプに来て、ひなん所でどういうことをすればよいか分かりました。

11	トイレや電気が止まる時、なんだかきんちょうしてちょっとしんぱいだったけど、思った以上楽しかったです。クレヨンしんちゃんのえい画がとくにおもしろかったです。こんなときにえい画を見てもいいのかと思いました。
12	魚つりたのしかった。
13	くらげをみたこと。ごはんをたべたこと。
14	おとこのこたちがくらげつりをしたこと。おみせにいたこと。いっぱいあそんだこと。
15	[良かったこと] おふろがあったこと 夜景がきれいだった [悪かったこと] やわらかいものがなかったので、こしやくびがなくなった
16	[楽しいこと] つりがとても楽しかったです [悪いこと] 雨だった ルアーのはりがいたかった さかながつれたけど死んだからえさにしちゃって海に落ちたからさんねん
17	クラゲつりがたのしかった。 ルアー = 0 円 糸 = 0 円 さおのたけ = 0 円 ↓ 合計 0 円 [とれたもの] クラゲ = 0 円 へんな生物 = 0 円 カニ = 0 円 合計 = 3 びき
18	トイレのつかい方とかたいへんだったけど楽しかったです。ほうたいのまき方も教えてもらいました。ごはんのたき方も教えてもらって自分でも作りました。ママがこれなかったの、教えてあげたいです。たんかも教えてもらいました。40キロぐらいのカエルの人形がおもしろかったです。ぜんぶ楽しかったです。